

2010 年8月15日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 東大和市レクリエーション協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

東大和子どもライНКアップ大会

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

子どもの体力低下は今や危機的な状況である。加えて運動嫌いの子どもの増加は子どもの半数以上にも達している。これらのことは今も大問題であるが未来を担う人類そのものの存在を脅かしている。今こそ大人の責任で少しでもこれらの状況を改善しなくてはならない。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

これまで東大和市や近隣の小学校、特に「放課後の子どもの居場所教室」を開催している小学校に働きかけて、「ライНКアップ」を普及させてきた。今年は夏休みに、東大和市の中央公民館のホールを利用してライНКアップのやり方やルールを伝え体験的に楽しんで貰い、更に試合形式で大会を行い、優勝チームを表彰した。東大和市では一応の普及を納め「放課後の子どもの居場所教室」だけでなく市内の小学校へ新しいスポーツとして知れ、取り上げられる様になった。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

現在東大和市では「放課後の子どもの居場所教室」を開催する小学校を増やしている。ただ問題点として指導者の確保や何をしたらよいかの戸惑いも見られる。私どもの協会は微力であるがこのニュースポーツをもとにこれらの教室に協力しつつ、認知と普及を今後とも計っていきます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

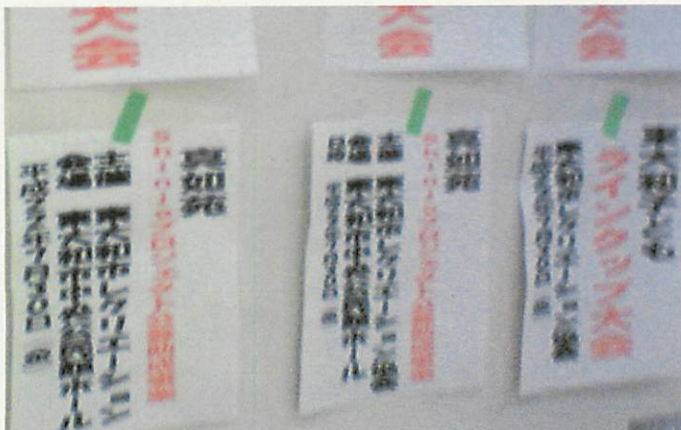
これまでスポーツに縁がなかった人たちは既成の体育協会的なスポーツに参加するにはためらいがある。しかしながら誰もが体験していない未知のニュースポーツ(例えば体力差や身体的なハンディを考慮して誰でも参加しやすく楽しめるスポーツ)による大会、フェスティバルはそれ自身スポーツフォーオールに役立つと考え実施した。今後とも更に推し進めていく。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

東大和子どもラインカップ大会を開催しました。



子ども一人ひとりに
スタッフが丁寧に
アドバイスをしました



ラインカップとは一直線上に
あるカップ（スウェーデン語で
薪という意味のニュースポーツ）
をカストピンナ（丸棒）で倒す
ものです。